



市川市立第七中学校 学校だより
No.9 令和7年1月21日

学校教育目標

「豊かな心を培い、たくましく生き抜く力を育てる」
～ 多様性を認め自他を大切にする ～



学校評価アンケート結果

	質 問 項 目	生徒 12 月 (6 月)	保護者 1 2 月 (6 月)
1	友達の良いところを見つけることができる。	95% (96%)	88% (87%)
2	目標をもって学習したり、生活している	78% (75%)	68% (69%)
3	調べたことやわからないことを自分から調べるなど、色々なことに興味をもって学習に取り組んでいる。	73% (70%)	62% 63%
4	日頃から読書に親しんだり、図書資料を使って調べ学習をしている。	44% (45%)	33% (33%)
5	日々の学習で、タブレットを活用している。	43% (43%)	40% (33%)
6	日頃から運動やスポーツに親しんでいる。	72% (75%)	69% (69%)
7	給食では、栄養やマナーなどを意識して食べている。 (お子さんは、望ましい食習慣が身についている。)	83% (80%)	80% (82%)
8	学校の活動で、地域の方たちと共に学ぶ機会がある。(学校は、保護者や地域の方々と共に、子供を育てる取組を進めている。)	30% (29%)	87% (78%)
9	困ったときに相談できる先生がいる。(学校は一人ひとりのニーズに対応したきめ細やかな支援体制が整っている。)	75% (74%)	69% (68%)
10	学校は、体験活動や交流を取り入れている。	81% (80%)	85% (66%)
11	授業が分りやすい。	88% (86%)	69% (65%)
12	家庭学習をほぼ毎日、週に2～3回している。 (家庭学習の習慣が身についている。)	80% (80%)	55% (56%)
13	自分から進んであいさつをしている。	92% (93%)	83% (77%)
14	(学校は、中学校区の幼・保・小学校と連携して教育活動をしている。)	*	84% (75%)

学校評価の考察



12月に頂いた学校評価アンケートの集計結果が出ましたのでお知らせします。今回の回答率は保護者60.9%（6月69%）、生徒82.2%でした。今年度より市川市の評価項目も変わり、またタブレット等の回答方法も統一されての実施ですが、もう少し多くの保護者および生徒からご回答いただけるよう学校からの発信もしっかりとしていかななくてはならないと考えています。また学校評価の一番の目的、学校改善に生かしていきたいと思えます。

6月のアンケートと比較すると、全体的に肯定的な評価が増えました。こちらは半年たって学校に対して期待・信頼も少しずつでも大きくなっていると考え、教職員でも共通理解しながら今後とも取り組んでいきます。今年度からの市川市の評価項目の特徴は学習への取り組み項目がより具体的に回答を求めていることと思えます。例えば評価項目⑤のように毎日の学習にタブレットを活用しているかなどの項目です。こちらの項目は12月は保護者の回答は大きく向上しましたが、生徒の回答は微増でした。来年度からは全ての教科で教科書が新しい教科書になります。教科によっては今まで使用していた教科書会社とは違う教科書になります。また今回の教科書の改訂の特徴はすべての教科の教科書の各ページにQRコードの印刷が増え、教科書を見ながら、タブレットを活用する時間がかかり多くなることが予想されます。今後はこちらの項目はさらに向上していく事と思えます。また評価項目⑩の学校は体験学習を取り入れているの項目でも保護者の回答は大きく向上しましたが、生徒の回答は微増でした。2学期は学校行事も多く潮風祭、地域への職場体験、幼稚園や保育園への読み聞かせ活動が評価された結果だと考えられます。家庭学習の習慣の項目⑫ではほとんど変化はありませんでした、学校では学んだことをさらに調べたくなるような学習をより心がけていき家庭でも生徒たち自身が主体的に学んでいけるように指導してきます。ご家庭でも探究的な学習の支援をお願いします。全体的に大きく見れば、生徒は礼儀正しく、責任感があり、優しい生徒に育てていることが伺えます。

学校経営については、引き続き保護者と協働しながら、本校の特色ある地域とのつながりを大切にした教育活動と学校図書館を活用した読書活動の推進、および多様性を認め、人権を大切にする教育活動を展開してまいります。ご意見等がありましたら、いつでも学校（校長）までご連絡ください。

アンケートにご協力ありがとうございました。

文責 校長

※学校ホームページにはタイムリーな学校の様子等がアップされています。

緊急時の連絡をお伝えすることもあります。HPの登録をお願いします。⇒

